

カーボン・オフセット報告

社団法人 海外環境協力センター

OECCは、2010年6月に開催した設立20周年記念行事、ならびに同年10月、生物多様性COP10において併催された生物多様性フェア出展に伴い発生した温室効果ガス1885KgCO₂について、宮崎県諸塚村森林炭素吸収量活動プロジェクトから（株）CACを通じて、J-VER クレジット2トン調達し、カーボン・オフセットいたしました。

宮崎県諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクトとは

諸塚村の森は、スギ、ヒノキの針葉樹とクヌギ、ナラ等の広葉樹、シイ、カシ、ツバキ等の照葉樹林からなる針広混交林の美しいモザイク林です。諸塚村で展開されている森林管理プロジェクトは、低炭素社会実現に貢献することを目的に、J-VER 制度に準拠した森林管理（間伐促進）を推進することでCO₂吸収量を増大させています。また、適正な間伐を推進することにより、地域に根ざした森林管理者の雇用の創出につなげるプロジェクトです。国土の保全、水源涵養など森林本来の機能を維持できるような森づくり実現や、豊かな森とその資源を活用した都市との交流による地域の活性化など、多面的な効果も期待されています。

1. OECC20周年設立記念行事（式典・シンポジウム・レセプション）開催に伴う カーボン・オフセット

（社）海外環境協力センターは、本年20周年を迎えたことから、2010年6月11日（金）、設立20周年記念行事を催しました。

🚩 イベント概要

OECC 設立 20 周年記念行事 2010 年 6 月 11 日（金） 15：00-20：30

- 1 設立記念式典 15：00-15：40
於：霞ヶ関ビル『プラザホール』
- 2 設立記念シンポジウム「低炭素社会実現に向けて」 15：40-18：15
於：霞ヶ関ビル『プラザホール』
- 3 設立記念パーティー 18：30-20：30
於：東海大学校友会館「朝日/東海/三保の間」

🚩 CO2削減努力

- 📄 公共交通機関利用の呼びかけ
- 📄 会議場設定温度 28 度設定及び事前通知による軽装の呼びかけ

🚩 カーボン・オフセットの対象となる活動

一連の記念行事開催に際し、以下の活動をカーボン・オフセットのバウンダリと決めました。

- 📄 参加者および事務局員の会議場までの移動に伴う交通機関利用
- 📄 会議場および事務局準備室における電力利用

🚩 会議開催に係る温室効果ガス（GHG）排出量

上記の活動に伴う温室効果ガス（GHG）排出量は、CO₂換算で、約 1333kg-CO₂となりました。
(CO₂換算)

CO ₂ 排出源	CO ₂ 排出量 (kgCO ₂)
参加者の交通機関利用	
旅客鉄道	274
自動車	795
事務局の交通機関利用	
旅客鉄道	8
自動車	40
会場利用	
電力	216
CO ₂ 排出量合計	1333

2. 生物多様性フェア出展”OECC SATO-Village in Laos” 運営に伴う
カーボン・オフセット

OECC 技術部会では、日本政府が提唱している SATOYAMA イニシアティブの開発途上国への適用について検討してきました。2010年10月、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が愛知県名古屋で開催され、COP10会場隣接地において併催された展示会「生物多様性交流フェア」に、①SATO-ビレッジ構想や展開モデルの発表、②ラオス国の紹介、③OECCの広報に加え、④会員の事業活動を紹介、PRすることを目的に、「OECC SATO-VILLAGE in LAOS」を出展しました。

🚩 イベント概要

イベント名： 生物多様性フェア
ブース名： “OECC SATO-Village in Laos”
開催日時： 2010年10月22日（金）～29日（金）
場所： 愛知県名古屋市熱田区白鳥公園内 ブース170

🚩 CO2削減努力

- 📄 公共交通機関利用の呼びかけ
- 📄 ビアラオは、省エネプロジェクトとしてCERクレジットを洞爺湖サミットに提供という環境面における製品確認

🚩 カーボン・オフセットの対象となる活動

以下の活動をカーボン・オフセットのバウンダリと決めました。

- 📄 関係者および事務局員の会議場までの移動に伴う交通機関利用

なお、生物多様性フェア全体運営に係る電力使用については、主催者側でカーボン・オフセットを実施しています。

🚩 ブース運営に係る温室効果ガス（GHG）排出量

上記の活動に伴う温室効果ガス（GHG）排出量は、CO₂換算で約552kg-CO₂となりました。

CO ₂ 排出源	CO ₂ 排出量 (kgCO ₂)
関係者の交通機関利用※1	
飛行機	249
旅客鉄道※2	169
自動車※3	81
事務局の交通機関利用	
旅客鉄道※2	53
CO ₂ 排出量合計	552

※1 関係者とは、会員が派遣した説明員、応援員

 参考資料

-  カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (ver.1.1) ¹
-  温室効果ガス排出算定・報告マニュアル ver.2.3²
-  算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 環境省 (平成 22 年 3 月改正) ³
-  東京電力ホームページ⁴

以上

¹ http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/guideline/guideline-cmghg.pdf

² <http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/manual/index.html>

³ <http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/material/itiran.pdf>

⁴ <http://www.tepco.co.jp/eco/report/glb/02-j.html>